

宇治市議会の決算特別委員会(長野恵津子委員長)は1日、公共下水道事業特別会計、建設総括室・建設部・都市整備部などの審査を行い、5日間に及んだ部局別審査を終えた。

## 宇治市議会 決算特別委 部局別審査が終了

今年2月、「塔の島地区改修事業」の宇治川区河床掘削中、土のうが流出した件では山崎恭一

委員(共産)が「国交省の報告書を見て目が点になった。今まで天ヶ瀬ダム横の放流炉整備など地震発生時を心配してきたが、改めて不安に感じた」と中止を訴え、川

端修副市長は「大変なことをしてかしたが、工法を含め再度確認してきた。28災(1953年の災害)を考えると、堤防補強も河床掘削も必要。天ヶ瀬ダム再開発、15

00ト放流は必要」と理解を求めた。

西川博司委員(民主)は「雨水流出抑制施策を民間の宅地造成で設置するための助成を」と提案。横山維持課主幹は「先進地では制度発足当初は利用があるが、その後は急激に利用が減っている。助成金については、さらに先進地を研究したい」と理解を求めた。

なお、決算委では4日に実地調査を行い、11日に総括質疑と採決を予定している。